

道徳教育特別非常勤講師派遣事業実施報告書

学校名		伊達市立長和小学校	教員数	8名	児童・生徒数	39名	学級数	5学級
1 事業実施内容								
特別非常勤講師名		河合 竜二						
職業又は活動分野		元プロサッカー選手（北海道コンサドーレ札幌） 現コンサドーレ・リレーションズチーム・キャプテン兼 一般社団法人コンサドーレ北海道スポーツクラブ スポーツダイレクター						
派遣期間		令和5年9月7日（木）	勤務日数	1日				
実施学年		全学年	実施時間数	120分 (事前15分、講演60分、事後45分)				
内容項目		A-(5) 希望と勇気、努力と強い意志 B-(8) 思いやり、感謝						
指導内容		「目標をもち、希望や勇気をもって、困難があっても努力してやり抜こうとする心情を育てる」ことをねらいとし、講師による講話、それを踏まえて自分の考えの形成と振り返りを行った。						
指導展開	事前指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施教科等 <ul style="list-style-type: none"> ・特別の教科 道徳 ○ 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・プロのサッカー選手として活躍してきた講師の方の略歴を紹介する。普段はなかなか聞くことができない話を直接聞くことができる貴重な機会であることを伝え、その中から今後の自分にとって糧になることを得られるようにしてほしいことを伝える。 						
	講演	<ol style="list-style-type: none"> 1 道徳的価値へ方向付けと講師紹介 2 講話『夢のかなえ方』 <ul style="list-style-type: none"> ○ 挫折～小学校時代のエピソードを通して <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会出場がかかった試合での自分のPKの失敗での敗退・挫折。一時サッカーをやめようと考えたが、両親との会話から夢へのあこがれを想起し、サッカーを継続することを決意。 ○ 原点～高校時代・プロでの体験を通して <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー強豪校に進学。部員が100人以上いる中で、どんなことをすれば、試合に出られるようになるのかを考える。ランニング練習時の最後まで全力疾走を貫く姿勢が評価され、レギュラーチームへ昇格。プロへの道が開ける。 ・プロになってからも、その姿勢を忘れず、50m走練習時等、常に全力疾走を貫くことを心掛ける。その姿勢が評価され、チャンスをつかむことに繋がった。 ○ まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・夢をかなえるのに近道は無い。目の前の課題を地道に全力で続けることが大切。 ・日々の微差が大差に変わる。続けること、努力の継続が夢の実現に繋がる。 ・サッカーを続けてこられたのは、周りの人達の力があつたから。感謝の気持ちを忘れないことが大切。 						
	道徳科の授業 (事後指導)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容項目 <ul style="list-style-type: none"> ・A-(5) 希望と勇気、努力と強い意志 ○ ねらい <ul style="list-style-type: none"> 【第1学年及び第2学年】自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする道徳的実践意欲を育てる。 【第3学年及び第4学年】自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜こうとする道徳的実践意欲を育てる。 【第5学年及び第6学年】より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜こうとする道徳的態度を育てる。 ○ 講演との関わり <ul style="list-style-type: none"> ・日常の小さな頑張りの積み重ねが、大きな成果につながることに気付かせながら、日々の努力の大切さについて認識を深める。また、周りの人達に対する感謝の気持ちの大切さに気付かせる。 						
2 成果の概要								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 講話から <ul style="list-style-type: none"> ・プロのサッカー選手になるという大きな夢を達成するためには、特別な近道は無く、日々の小さな努力を続けていくことが大切。また、「微差が大差に繋がる」という講師の言葉から、周りの人達が力を抜くような場面でも全力で取り組む姿勢などが、夢の達成へと繋がっていくことなど、努力の大切さを改めて実感していた。 ○ 講演後、児童から以下の質問・講師の回答があり、道徳的価値に対する認識を更に深めることができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・① Q モチベーションを高める方法は？ <ul style="list-style-type: none"> A 小さな目標を少しずつクリアしていくことが大切。 								

② Q サッカーをやっていてよかったことは？

A 挫折を乗り越える力が身に付いたと思う。また、サッカーは1人ではできない。支えてくれる多くの人達や、審判・相手チームの選手等、様々な人達の関わりや支えの中で成立している。感謝の気持ちをもつことの大切さを実感することができた。

○ 交流場面から

- ・講演後、簡単なサッカーの実技指導・交流を実施。
- ・ボール取りゲーム・ドリブル・ミニゲーム等を行い、子どもたちにサッカーの楽しさ等を伝えてもらう。
- ・交流を通して、講演での話と関連させながら子どもたちに以下のアドバイスを実施。
 - ①失敗することは誰にでも必ずある。上手いかわからなくても気にしない。練習をやめない。
 - ②失敗した時は、その原因を考え修正し、次へ繋げること。
 - ③努力を継続すること。

○ 児童から感想・お礼

- ・今日はとても大切な話を聞くことができた。ありがとうございました。プロのサッカー選手として活躍するという大きな夢も、小さな努力の積み重ねていくと実現できるということが分かった。自分も今日聞いた話を忘れずに頑張っていきたい。

3 今後の課題

特になし

4 その他特記事項

特になし

講演・交流

